

観光商品斬新目線で

但馬技大生がプラン発表

県立但馬技術大学校（豊岡市九日市上町、74人）で、豊岡市街地をテーマにした観光商品プランの発表会があり、総合ビジネス学科の5期生10人が「SNS映えるスポット巡りなど斬新な目線の観光ルートを提案した。

同学科は1年制で2017年に新設。パソコンスキルやビジネスマナーなど事務職に必要な知識・技能の習得や事業計画の作成などを通じて、地域で活躍できる人材育成を目指す。

学生たちは同学科の科目「観光概論」の授業の一環



で観光プランの開発に取り組んでおり、この日は2グループ

豊岡市街地の観光商品プランを発表する学生。豊岡市九日市上町の県立但馬技術大学校

ループが発表した。

磯崎秋吾さん(19)が中心となった「磯崎観光」と題したグループは、市街地のレトロな喫茶店や建築物などをオンラインガイドで巡るサービスを紹介。西村夏海さん(20)のグループは、

城崎温泉を訪れた20〜30代を対象に電動バイクで市街地を散策するプランを提案した。

参加者は1日の利用想定人数や収益面などについて

学生に鋭い質問を投げ掛けていた。西村さんは「地域の歴史や良さも前面に出してプランを考えたい」と話した。(井上雅大)

